

新鮮！アーカイブズ【定員60名程度】

県公文書館との連携により、資料を通して歴史を学ぶ講座です。

〇-1 10/17 (木)	13:30 ~ 15:00	秋田県庁文書に見る 近代国家形成の過程	秋田県公文書館公文書班 主幹 畑 田 正 樹 氏
〇-2 10/24 (木)	13:30 ~ 15:00	公文書館所蔵の近世絵図	秋田県公文書館古文書班 主任学芸主事 太 田 研 氏
〇-3 11/7 (木)	13:30 ~ 15:00	公文書館所蔵文化財展をみる	秋田県公文書館 公文書班 柴 田 知 彰 氏 古文書班 鍋 島 真 氏
〇-4 11/14 (木)	13:30 ~ 15:00	秋田藩家老の日記にみる 元禄期と幕末期の秋田の諸相	秋田県生涯学習センター学習推進班 副主幹 佐 藤 隆

当センターで開講している4種類の連携講座のうちの一つです。秋田県公文書館所蔵の日記や絵図をもとに当時の歴史をひもとく講座で、のべ156人が参加しました。

公文書館には、秋田藩政に関する資料を中心におよそ6万点の古文書が所蔵されており、また明治以降に作成された秋田県の公文書も整理されています。その中から、各テーマに関する資料の解読方法や内容について、公文書館の職員等が講師となりわかりやすく説明されました。

秋田藩の家老が記した文書である『岡本元朝日記』には富士山の宝永火山噴火の様子が、また『宇都宮孟綱日記』ではペリーの来航の様子が書かれているなど、意外な事実が受講者の驚きを誘っていました。

受講者からは「実際の記録を使ってわかりやすく解説していただき、公文書館で所蔵されている文書の活用について関心を持つことができました」「日記・絵図に、その当時の暮らしぶりが記録されていることを知ることができました」といった感想が寄せられました。



近代国家の形成について説明する畑田氏



国絵図に描かれた久保田城付近